

星槎道都大学 グランドデザイン2040（答申）【概要】

一本学と学生・卒業生がVUCA時代を生き抜くための15年ビジョン

令和5年12月25日
新グランドデザイン検討委員会



MISSION	星槎の三つの約束	人を認める。人を排除しない。仲間を作る。
	建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
	教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
	目的・使命	広い分野の総合的な知識と深く専門の理論および応用を教授研究し、豊かな教養と専門知識および技術を身につけた課題探究能力および創造力に富んだ有為な人材を育成することを目的とし、もって文化の創造発展と共生社会の実現に貢献することを使命とする。

MISSION実現のための
コンセプト「学生成長率ナンバーワン」
—変化値を高め、ともに成長して共生社会の実現を目指す！—

2040年に向けた全学ビジョンと全学ビジョン達成のための重点施策

I 教育 ～ 学修者本位の教育、能動的な学修によるDPに基づく人材養成、「地域がキャンパス」でともに学び「連携・協調・共創」する教育環境を整備

学修者本位の教育の展開

学生の実態やニーズに応じた体系的・組織的な教育に取り組み、教育課程の継続的な改善を図ることで、学修者本位の教育(学生主体の学び)を展開し、教育の質を保証します。
▶学修成果の可視化、ポートフォリオの利用推進、メジャープログラムの充実、成績評価の厳格化、シラバスの充実、教育課程の体系化、クォーター制の改善、教育課程・内容の転換、アクティブラーニングの推進、生成AI・VR等の活用

能動的な学修への質的転換

3学部4学科の専門領域の枠を超え、学生や社会ニーズに対応した特色ある教育プログラムを展開し、学生と教員が互いに成長できる能動的な学修への質的転換を図ります。
▶文理融合リベラルアーツ教育の展開、サブメジャープログラムの充実、基礎ゼミナールのPBL転換、卒業論文等の充実

「連携・協調・共創」する教育環境の実現

多様な価値観や文化的背景を持つ人々が集い、ともに学び「連携・協調・共創」する教育環境を実現します。
▶通学・通信のシームレス化、LMSコンテンツの開発、ブレンド型授業へのシフト、収容定員の見直し、通信教育課程の設置、ICT活用による単位互換や学位プログラム開発の推進、地域がキャンパスの整備、留学生プログラムの充実、日本語教育の整備、リカレント教育・履修証明プログラム等の推進、附帯教育事業の展開

II 学生支援 ～ 学生一人ひとりが「星槎らしさ(わくわく感)」のもと、自らの成長を実感できる場となる学修環境を整備

多様な相談支援体制の強化

全ての学生の多様な相談に対応するための支援体制の充実・機能強化を図ります。
▶履修アドバイザー・ゼミ担任制度の充実、学修成果の可視化による学修指導、授業補助指導者のサポート充実、学生相談室・カウンセラーの支援強化、留学生支援の強化

多様な活動のチャレンジへの支援

学生が多様な活動(スポーツ・文化活動、社会貢献活動、留学など)にチャレンジできる支援体制を整備します。
▶経済的支援の充実、地域連携推進センターの機能充実、海外留学プログラムの開発、ピア・サポートの展開、情報発信体制の整備

独自奨学金制度の展開

学生が夢を叶える・自己成長を達成するための独自の奨学金制度等を展開します。
▶奨学金・助成金制度の整備(入学時・在学時・留学生・社会人・海外留学など)、有償型インターンシップの拡大

キャリア支援の充実

学生一人ひとりの個性に合わせたキャリア支援を行い、就職率100%の大学を目指します。
▶キャリア支援科目・就職支援講座の充実、個別面談の展開・強化、アセスメントテスト等の活用、インターンシップの強化、資格等取得支援の強化、留学生キャリア支援の充実

III 研究 ～ 各専門分野の特色を生かした独創的研究の推進、地域課題の解決のための研究への取り組み

共同研究・受託研究・受託事業の推進

各専門分野の特色を生かした独創的研究を推進するとともに、様々な機関(産学官)との共同研究や受託研究・受託事業の受入を推進します。
▶ポールパーク等地域題材研究の推進、産学官との協働した取組の推進、個人研究費・共同研究費の充実

外部研究資金の獲得

外部研究資金の戦略的獲得を促進します。
▶科研費ほか公的研究資金・競争的な研究資金の獲得、研究支援体制の強化、間接経費の機能的支出への見直し

研究成果の還元と多様な研究者の確保

社会に必要とされる研究に取り組み、その研究成果を社会や産業界等、さらに教育活動に還元できる多様な研究者の確保に努めます。
▶研究成果の社会還元、研究成果の教育活動還元、研究者のダイバーシティ推進、優秀な教育・研究者の確保

研究成果の発信力

文化の創造発展と共生社会の実現に貢献するため、研究成果の発信力を強化します。
▶講演会やシンポジウムの開催、SNS等による情報発信、リポジトリの構築

IV 社会連携・社会貢献 ～ 持続可能な社会の実現に向けた連携と貢献

教育・研究活動による連携

教育・研究活動を通じた社会連携・社会貢献を推進します。
▶地域題材の共同プロジェクト、SDGsの取組み、文理横断・融合、データサイエンス人材の育成、ボランティア活動・インターンシップの推進、高大連携の促進、日本語教育の充実

学びの機会の提供

リカレント教育を含む生涯学習の場として地域へ大学を開放し、学びの機会を提供します。
▶リカレント教育の充実、リスキリング等の提供、公開講座・講演会・シンポジウムの開催、施設設備の開放、包括連携先との連携強化

スポーツ・文化活動、卒業生と連携した貢献

スポーツ・文化活動を通じた社会連携・社会貢献、学生や卒業生と連携した社会とのつながりを広げる活動を推進します。
▶各クラブのボランティア推進、卒業生との連携の強化、ボランティアの支援体制整備、様々な活動の情報発信、学生等と地域が繋がる機会の提供、サービラーニングの開発

V 大学運営 ～ 新たな時代に対応できる教育組織の構築

- ★コンプライアンスとダイバーシティや危機管理を意識した環境整備を推進します。▶コンプライアンスの遵守、多様な価値観の受容・人権の尊重、女性や外国人の採用・管理職登用、危機管理体制の整備
- ★DX推進による業務の合理化に取り組みます。▶ラーニング・ commonsの整備、業務のペーパーレス化、データ共有とクラウド化、各種意思決定手続きの見直し、ICTシステムの導入
- ★新たな時代に対応できる組織の構築及び人材の能力開発を推進します。▶教育力・研究力の向上、教員支援体制の整備、経営の高度化と業務効率化の検討(学部学科の再編・大学の統合や再編・公立化など)、柔軟な雇用形態の検討、人事採用の検討、人事評価制度の改善・再構築
- ★大学運営及び教育の可視化を推進し、教育の質保証に努めます。▶IRデータの利活用、教学マネジメントの確立、保有データの統合化と利活用基盤の整備、ポジティブ・スパイラルの確立、大学ブランドの構築
- ★将来を見据え、時代の変化に対応できる環境を整備します。▶キャンパス施設整備計画の策定、第2キャンパス耐震化の実現、バリアフリー化の推進とユニバーサルデザイン化への移行、エアコン設置の推進、情報機器・コンピュータ室の計画的整備、ラーニング・commonsの整備、課外活動施設・福利厚生施設の計画的整備、図書情報館の充実、学内ネットワークや教職員パソコンの計画的整備
- ★運営・教学部門双方の積極的な情報公開を行い、大学の魅力を発信します。▶法人・大学概要・ガバナンスコード等の情報公開、教育・研究活動の積極的な情報発信(TV・新聞・雑誌等)、ホームページ・SNS活用の広報体制の整備
- ★教育・研究活動等についての戦略的な広報により学生定員確保に取り組みます。▶多面的判定による入学試験の実施、留学生・社会人の受入促進、編入学生の受け入れ促進、戦略的な広報活動の強化、教育・研究活動等の見える化、出張授業・見学会の拡大、高校生向けコンクールや大会の充実、グループ校・高大連携校との連携強化
- ★大学の経営力強化と財政基盤の安定化を図り、本グランドデザインの実現に向けた戦略的な資源配分に取り組みます。▶行動計画(中期計画・事業計画)の策定、中期財政計画・人事計画の策定、物品発注の見直し、省エネの推進、寄附金の獲得強化、補助金や外部資金の獲得体制強化、附帯教育事業の充実、留学生別科・短期プログラムの受け入れ強化、大学施設設備の有効利用